

□中尾佐助・西岡京治：ブータンの花 (Nakao, S. & K. Nishioka: Flowers of Bhutan) 145 pp., 325 colour plates. 1984. 朝日新聞社, 東京. ¥6,800. 日本人として始めてブータンの植物調査をした中尾氏と, 20年にわたる長い間ブータンで農業指導をしている西岡氏によって作られたもので, 西岡氏が仕事の合間に写した写真を主とし, 中尾氏と東京大学ブータン植物調査隊の一員であった村田 源氏の写真を加え, ブータンの植物と現地で行なわれている植物の利用法を紹介した写真集である。ジャクナゲ類・ラン類など, 普段に見る機会のない美しいものが多数のせられている。寒地に適応して独特の形をしているトウヒレン属・ダイオウ属や, ヒマラヤにもラフレシア属のものがあるなど珍しいものがある。植物の利用は中尾氏の専門であり, またブータンに長く住んでいなければ知られない事項が多い。ヤドリギの一種をお茶にすること, リュウビнтаイの根茎を食用にすること, 麴作りにタイワンフジツギやフタバムグラ属の一種を使うことなど貴重な記録である。利用されている植物の種名がわからないものがあるのは, 今後ぜひ明らかにしたいものである。使用されている写真が日付の記録を欠いていること, どの写真をだれが撮したものかわからないことなど, 後に残る著作だけに正確に記しておいてもらいたかった。43図の満開の色々なジャクナゲにかこまれている婦人は, 記されていないが西岡氏の里子夫人である。遠慮したのかもかもしれないが, 記録としては書いておいてもらいたかった。ヒマラヤに残された秘境であるブータンの植物をまとめて紹介したのは世界で初めてである。1983年にエジンバラで出版されはじめた Flora of Bhutan はまだごく一部の植物しか書かれていないが, これと合わせると, ブータンの植物は急速に明らかになっていくと思われる。(山崎 敬)

□正宗敬敬：日本の自生蘭 写真と図 第一集 103 pp. 1984. 自家出版 (500部限定). ¥10,500 (送料・包装料¥500込). 本書は約 29×22 cm の大版で, 今のところ第四集までの出版計画があり, 第一集には28種を取め, ナヨテンマ, ヒメノヤガラ, コハクラン, コラン, サガミランなど珍しいものを含む, 記載はすべて生植物に基づき, 克明で1頁を超える。生態, 分布, 稀に分類学的の意見も附加されているが, ここに発表された学名には必ずしもこだわらず, 分類学的展望は大多数の種が印刷された時に与えたいとのことである。各種には平均6枚以上のカラー写真を伴ない, 全形のほかに地下部, 唇弁, 蕊柱, 花粉塊, 果実などの接写を含む。著者 (1899-) は若い時からランに関する愛着を持ち続けていたが, 他の分野の研究に忙しくて, 還暦の頃からこのような写真集の出版を考えたという。カラー写真はすべて著者の手になるもので, 特に強拡大の部分写真には苦心のあとが偲ばれ, ランに対する執念がここに凝り固った感がある。巻末附録に10頁のラン科の記載用語の説明がある。第二集では写真にスケールを入れてほしい。購入申込は小田原市 [ ] 著者あて。(津山 尚・金井弘夫)